



まちに笑顔!

みんなの元気を
応援します!

この機関誌は、大島もえ議員の選挙公約の一つ
【「政治」を「議会」を身近に感じたい】を実現のために、
「議会報告」として年に4回お届けしています。

元気マークへの想い

にじ

国境を越えて掛けり、
雨上がりの日にかかる
「にじ」は、希望の橋。
7色に輝く「にじ」は、
どんな個性も受け入れる
多様性の象徴。

ひまわり

太陽の花と呼ばれ、
元気の象徴「ひまわり」。
「温かい包容力」で
人とながっていきたい。
尾張旭市の花もある。

ニッコリ笑顔

道行く人と
笑顔を交わしただけで
楽しくなってしまう私。
笑顔は自分を元気にしてくれる。
みんなに元気をいただいて、
いつも笑顔に感謝。

人の数だけある それぞれの時間、それぞれの暮らし方
そのひとコマひとコマを大切に いつも笑顔でいられるように
喜びとしあわせて満たしたい。

それが、私なりの「政治の役割」に込めてきた想いです。

「ありがとう」 この一言に支えられ、励まされ
様々な声に耳を傾けながら、
私なりの歩みを進めてまいりました。

この間、多くの経験をえていただき
活動を支え、関わってくださった

すべての皆さん

本当に、ありがとうございました。

「市民の声の窓口」として
今後の活動にも新鮮な気持ちで
取り組んでいきます。



大島 もえ

これからも、
よろしく
お願ひいたします。

政治は、暮らしの中に
生かれています。

おおしま 大島もえと ニッコリ元気会 会報

No.38
2011年 春号

●編集・発行

〒488-0044 尾張旭市南本地ヶ原町3-35
TEL.0561-52-9511 FAX.0561-52-9620
<http://moe-genki.net> E-mail : contact@moe-genki.net

●配布ボランティアの方々のご協力で
約1万部を発行しております。ありがとうございます。
ご協力いただけます方は、是非ご連絡下さいませ。

おおしま 大島もえの プロフィール

生まれ ● 1976年6月

略歴 ● 1995年 名古屋市立名東高等学校 卒業

● 1999年 愛知県立大学 卒業

● 愛知県立大学 嘴託職員

● 元衆議院議員 大島令子 秘書



◀本会議
一般質問

議会 ● 2003年4月 尾張旭市議会議員 初当選

- 民生文教委員
- 建設経済委員
- 議会運営委員会副長
- 決算特別委員
- 市議会だより編集委員
- 尾張旭市長久手町衛生組合議会議員
- 2007年4月 尾張旭市議会議員 2期目当選
- 民生文教委員会委員長
- 総務委員会委員長
- 公立陶生病院組合議会議員
- 尾張旭市長久手町衛生組合議会議員

これまで.....

小学生時代

- 書道
- そろばん
- ピアノ
- トランペット鼓隊

中学・高校生時代

- 卓球

大学生時代・社会人

- 中日クラブで
女子アイスホッケー
- 名市大オーケストラで
オーボエ担当
- ピースボートに乗りアジア一周クルーズ
(戦争の歴史を持つアジアの貧困を目の当たりに)
- 和太鼓



◀ベトナムにて

「大島もえとニッコリ元気会」規約(抜粋)

名称：大島もえとニッコリ元気会

目的：大島もえの政治活動を支援し、

住みよい社会づくりを目的とします。

事業：大島もえを囲む講演会・研修会の開催、

会報の発行、その他必要な事業を行います。

会員：この会の目的に賛同する個人・団体は、

自由に加入できます。

●カンパ・寄付●

郵便振替口座:00870-4-130001

名称:大島もえとニッコリ元気会



まちに笑顔!

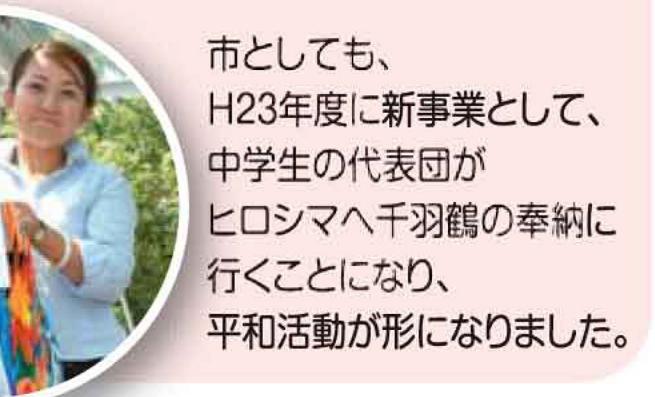
たくさんの人に出逢い
たくさんの元気をもらいました。



駅頭で挨拶
通勤通学の皆さまに笑顔で
「いってらっしゃい!」
みんなの元気を
応援しています。



千羽鶴プロジェクト
一折一折に込められた
平和への願い。
地域の皆さんに
折っていただいた、
3万羽の折り鶴を、
8月6日広島の平和公園へ
奉納してきました。



手で見かけたら
くださいね。

おおしま
大島もえと
ニッコリ元気会
●お申し込み・お問い合わせ
〒488-0044 愛知県尾張旭市南本地ヶ原町3-35
TEL.0561-52-9511 FAX.0561-52-9620
<http://moe-genki.net>
E-mail:contact@moe-genki.net



食料不足に苦しむアジア・
アフリカ支援米の作付け作業
に參加しました。



身近なことからエコ活動。
マイ箸を広める活動を
しています。
活動を通して
植樹にも
貢献しました。
マイ箸の袋を作つて
セットで販売しています。



毎月1回ふれあいと健康づくり
のために開催しています。
皆さんお気軽に
ご参加ください。



育児に奮闘中



まちに笑顔!

くらしや心を元気に。そして、政治を身近に。尾張旭を元気なまちに変えてゆきたい。人と人が笑顔でつながってゆくまちにしたい。私はいつも、こう考えて活動をしています。

議会改革

開かれた議会になる様に、議会のインターネット中継や情報公開に取り組み、議論の中身を伝わりやすくすることで、議会の資質向上に努めます。

市民のみなさんの声

議会でどのような内容が議論されているのかを、わかりやすく伝えてほしい。

● 関わりやすい議会の実現
議会のインターネット中継が実現すれば、お茶の間に居ながらにして、事後報告でなく、リアルタイムで議論を視聴することができます。各議員の質問事項などが事前に公開され、審議の具体的流れが伝われば、前もって興味のあるテーマに出会え、市政参加がやすくなります。

身近な市役所

「行政は最大のサービス業」意味するところは、すべての行政事務が市民生活のサポートのために存在することです。情報公開を進め、身近な市役所としての役割を実現していきます。

● 市役所の相談窓口の設置
「縦割り行政」という仕組みが特徴的な市役所は、市民の皆さんにとって窓口がわかりにくいため、ケースワーカーの様に、相談内容を聞き、解決策を調整する様な役割を担う窓口を求める声を多く耳にします。各部署だけの対応ではなく「チーム市役所」で解決してゆくことが求められる役割であると提案しています。

● 関わりやすい議会の実現
議会のインターネット中継が実現すれば、お茶の間に居ながらにして、事後報告でなく、リアルタイムで議論を視聴することができます。各議員の質問事項などが事前に公開され、審議の具体的流れが伝われば、前もって興味のあるテーマに出会え、市政参加がやすくなります。

息づく自然

市域の6分の1を占める森林公園、中央を流れる矢田川、広がる田園風景、点在する池、湿地、里山…と、そこに憩う生物たち。守りながら、参加しながら、自然と共生していくまちづくりをすすめます。

● 「ゴミの減量と「ゴミ袋の多様化」
国度で母子家庭にのみ支給されている「児童扶養手当」を、市の施策で父子家庭にも支給することを提案し、併せて、市から、国の制度を改善していただける様に要望していただき、実現されました。

● 「ゴミの減量と「ゴミ袋の多様化」
皆さまのご協力により、ごみの減量化が進み、その成果が小さいサイズ(10L)の可燃ごみ袋の誕生につながりました。更に、要望していた不燃ごみ袋(これまで指定袋がなかった)も、今年4月には誕生し、排出方法のバラつきの改善により、回収されないごみの放置を防ぐ方策が実施されます。

いきいき女性

女性も男性も多様な分野で活躍でき、互いの豊かな経験を分かち合える様に、男女の垣根を越えた施策を発信していきます。

● 父子家庭の認知と手当の支給
母子家庭には「児童扶養手当」が支給されていますが、父子家庭にも支給してほしい。

● 父子家庭の認知と手当の支給
自然環境を考えてごみを減らす様に努力した結果、袋の大きさが大き過ぎてもったいないので、小さくできませんか。

● 父子家庭の認知と手当の支給
国度で母子家庭にのみ支給されている「児童扶養手当」を、市の施策で父子家庭にも支給することを提案し、併せて、市から、国の制度を改善していただける様に要望していただき、実現されました。

住んで安心

防災、防犯…いざという時、身近ですぐに頼りになるのは「ご近所さん」。自治会・町内会、自主防災組織、自主防犯組織など、地域コミュニティーとの連携をさらに進めています。

● 横断歩道の設置
校区(本地ヶ原)の会議や行事も行われ、投票所にもなっている「新池交流館ふらっと」へ、遠回りしないで渡れる横断歩道を設置してほしい。

● 横断歩道の設置
以前は立ち入り禁止の池だった新池に公共施設ができ、多くの市民が道路を渡る様になりました。市民の安全な移動のために、地域の皆さんの要望書を市および守山署へ提出し、横断歩道の設置が実現しました。

子どもに輝き

一人ひとりの子どもの命と笑顔が輝くために。生まれてから義務教育を経て成人するまでのあらゆる政策に取り組みます。

● 児童クラブの時間延長
校区(本地ヶ原)の会議や行事も行われ、投票所にもなっている「新池交流館ふらっと」へ、遠回りしないで渡れる横断歩道を設置してほしい。

● 児童クラブの時間延長
尾張旭市には、まだ児童クラブのない校区もあります。現在6時までしかカバーしていない児童クラブと、新設しようとしている児童クラブ、併せて7時までの稼動を求めています。



○その他の主な課題
実際に我が子も一時保育にお世話になっていますが、保育園の待機児童解消や希望に沿った入園には、未だ施設も足らず保育士さんも足りません。保育士さんの採用増や、根本的な労働待遇の改善を求めていきます。

福祉に笑顔

いつでも、どこでも、誰でも。必要な時に、あたりまえに受けられる医療、介護、保健サービスなどの充実をすすめています。

● 医療費負担の軽減
障害を持った方は、就労の機会も少ない上に一般的の病気に対する医療費の負担が大きいという課題が今までにはありました。助成を拡充することをすすめ、その部分での医療費の負担をなくしました。



○その他の主な課題

高齢者支援として、タクシーを含めた公共交通機関の利用料金の軽減を

要望しています。

また、あさピー号の利用料全額補助を求めていきます。

みんなの元気を応援します。



大島もえ